

We are all

Children of

社会・人間科学特別講義SB
地球市民のためのエコロジーとスピリチュアリティ
第1回:オリエンテーション、サステナビリティの基本

みんな地球の子ども

th.

2022.6.14

リベラルアーツ研究教育院教授

中野民夫

tamio.nakano@me.com

Tamio

アジェンダ

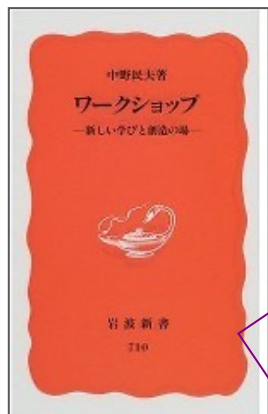
- 14:20- オリエン、授業の概要など
- 14:35- 参加者チェックイン
- 15:00- 「地球市民」って？
 - SDGsについて
- 15:20- 「エコロジーとスピリチュアリティ」
- 15:30- 屋久島バーチャルツアー
- 15:45- サステナビリティの基礎
- 16:00 終了

担当教員1：中野民夫



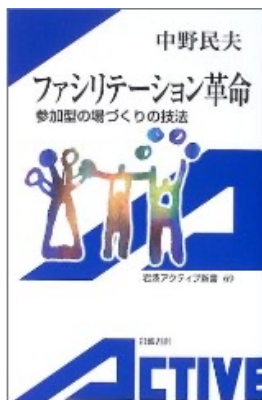
- リベラルアーツ研究教育院(ILA)教授
 - 環境・社会理工学院 社会・人間科学コースも担当
 - 元は企業人（博報堂に30年）。2012年から同志社教授、15秋から現職
- 専門：コミュニケーション論
 - ワークショップ、ファシリテーション」（参加型の場づくり）
 - マインドフルネス（今ここへのありのままへの気づき）、環境教育
- 大学時代は、世界を一人旅。見田ゼミ、ワングル、文学部宗教学科卒
- ワークショップ企画プロデューサー（2001から）
 - 休職留学（89–91）CIIS組織開発・変革学修士、『ワークショップ』出版から
 - 市民活動、NPO/NGO、企業、行政、まちづくり、研修、学校教育等でWS
- 自然が好き。屋久島に拠点「本然庵」（道場、リトリートセンター）
- 遅咲きのシンガーソングライター（57歳から歌が！）
- 毎朝YOGAしてます。62歳から絵を描いています。料理も好き。

主な著作



18刷!

ワークショップ
新しい学びと創造の場
(岩波新書、2001)



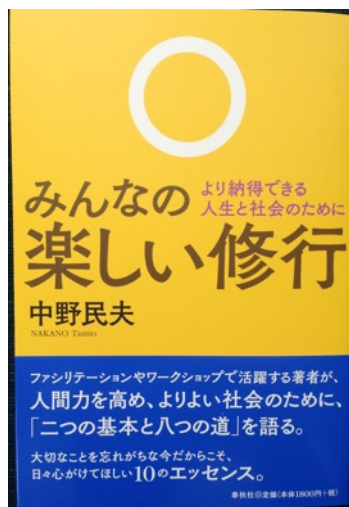
9刷!

ファシリテーション革命
参加型の場づくりの技法
(岩波アクティブ新書、2003)
*現在、電子出版のみ



8刷!

ファシリテーション
実践から学ぶスキルとこころ
(共著、岩波書店、2009)



みんなの楽しい修行
より納得できる人生と社会のために
(春秋社、2014)



スピリチュアリティと教育
(共著、Being・ネット・プレス、2015)



ファシリテーションで大学が変わる
(三田地真実後共編著、ナカニシヤ、2016)



6刷!



えんたくん革命

1枚のダンボールがファシリテーションと対話と世界を変える
(川嶋直と共著、みくに出版2018)



進化するマインドフルネス

ウェルビーイングへとつづく道
(飯塚まり編、共著、創元社2018)

学び合う場の作り方

--本当の学びへのファシリテーション
(岩波書店2017)

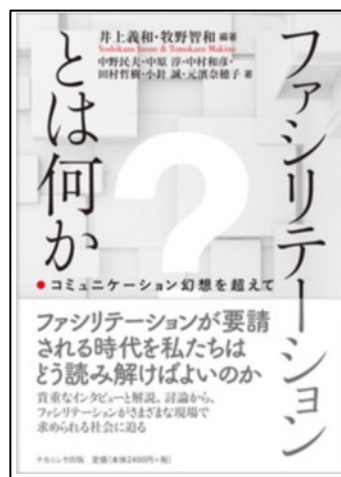
看護のための ファシリテーション

学び合い育ち合う
組織の作り方
(中野民夫・浦山絵里・森雅浩著、医学書院、2020)



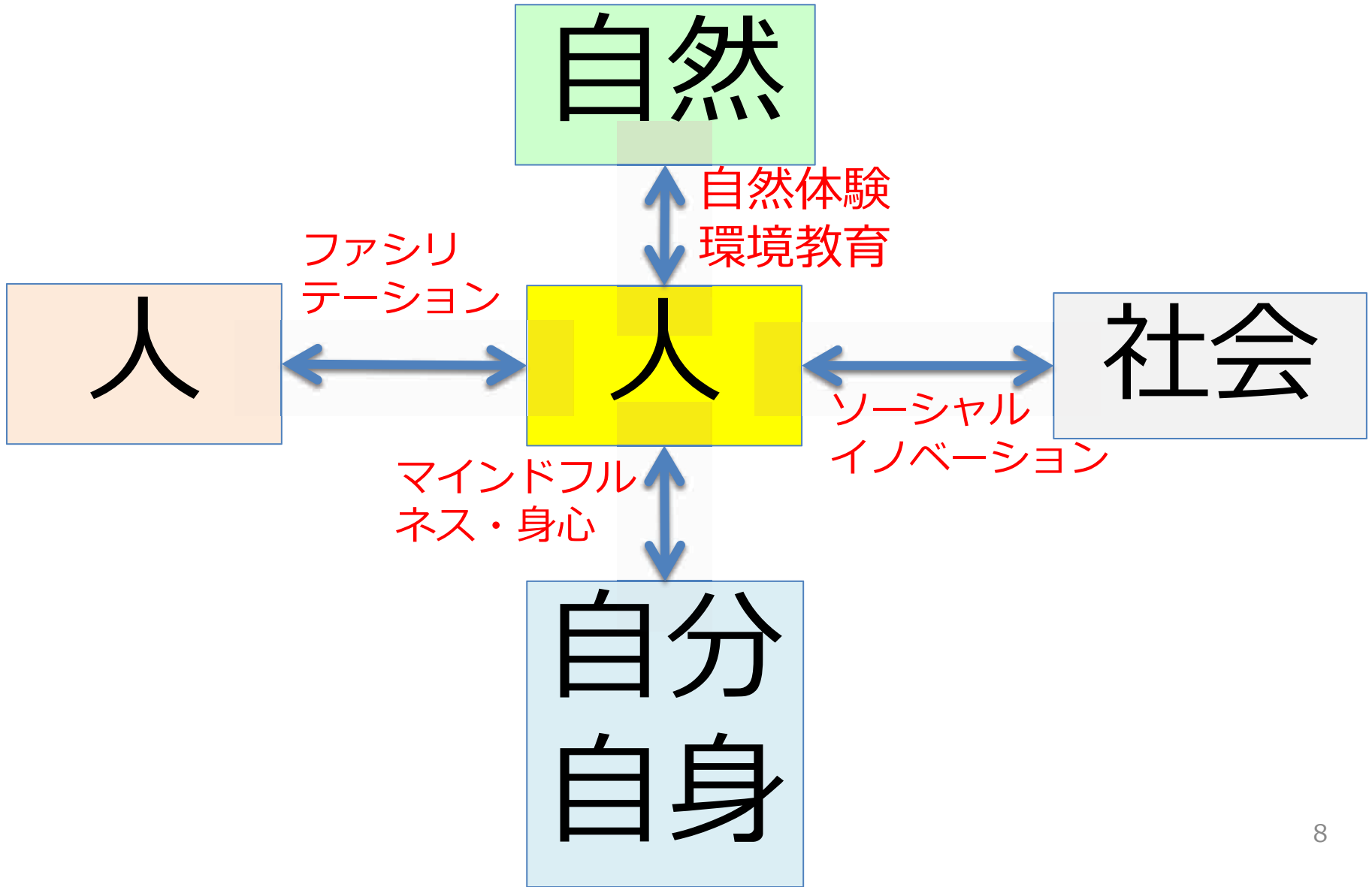
新・大学で 何を学ぶか

(上田紀行編著、岩波ジュニア新書、2020)
*東工大リベラルアーツ研究教育院の14人の先生たちの共著
中野は「大学時代、僕は何よりも旅から学んだ」



新刊
ファシリテーションとは何か?
(井上義和・牧野智和編著、ナカニシヤ出版、2022)
*若手**教育社会学者**2人の編集の共著

やっているのは「つなぎ直す」仕事
the work that re-connect (inspired by Joanna Macy)



We are all children of the earth.

私たちは、みんな「地球の子ども」たちです。

Native Americanの世界観

を実感したい！



地球市民のための エコロジーとスピリチュアリティ

授業の概要
シラバスの確認

地球市民のためのエコロジーとスピリチュアリティ 講義の概要とねらい

- **環境や人間の諸問題を惑星的な視野から捉え、自他のために行動できる「地球市民意識」の基礎を養う。**
- 具体的には、持続可能な社会を築くためのサステナビリティの原則や SDGs(持続可能な開発目標)、ディープエコロジー、古今東西の精神文化(マインドフルネス、仏教の般若心経や老師の Tao、修験道、アメリカ先住民の知恵、キリスト教の聖フランチェスコ)のエッセンスを概観する。
- 「私たちはより大きなものの一部」という点で、エコロジーとスピリチュアリティは共鳴する。
- 本講義のねらいは、科学と精神性を統合し、持続可能な未来づくりに貢献できる地球市民意識の醸成である。

到達目標

- 1) 持続可能な社会を築くための**サステナビリティの基本**や**SDGsの概要**を理解する。
- 2) 人間中心の視点を超え、より深くて永い視点に立つディープエコロジーの考え方を学ぶ。
- 3) **万物の相互依存性**を理解するために、仏教のマインドフルネスや般若心経、老師の夕オ、アメリカ先住民の知恵などの基本概念や世界観を理解する。
- 4) 自分の研究を持続可能な未来に役立てられるように地球市民意識を養う。

授業の進め方

- 講義とグループワークと歌を組み合わせる参加型の授業。
 - 事前に宿題で資料を読み、簡潔な説明のあとは、グループでの話し合いや体験的な実習で行う。
- 成績評価の基準
 - 積極的な授業への参加（グループワーク、宿題含む）：70%、最終レポート30%
- 参考書：
 - 『学び合う場の作り方』（中野民夫、岩波書店、2017）
 - 『みんなの楽しい修行』（中野民夫、春秋社、2014）
 - CD『自分の至福についていこう』（中野民夫、2018）

全体の流れ

(変更の可能性あります)

- 1) 6.14 : オリエン、SDGsとサステナビリティの基本
- 2) 6.21 : ディープエコロジー、ジョアンナ・メイシー、
 - 深いつながりを取り戻す→Coming Back to Life, Active Hope
- 3) 6.28 : マインドフルネス、ティク・ナット・ハン
 - 今、ここ、ありのままに気づく。→万物の相互依存性 “inter-being”
- 4) 7.5:般若心経、修験道
 - 歌で学ぶ「色即是空・空即是色」とマントラ
- 5) 7.12 : 老子（タオ）の世界、加島祥造
 - 英訳からの現代語意識。社会意識と宇宙意識。
- 6) 7.19 : アメリカ先住民の知恵、「知恵の三つ編み」
 - 口承の物語「狼の代弁は誰がするのか？」を輪読
- 7) 7.26:聖フランチェスコの平和の祈り、総まとめ。
 - 「神よ、私をあなたの平和の道具としてお使いください」

CD「自分の至福についていこう」

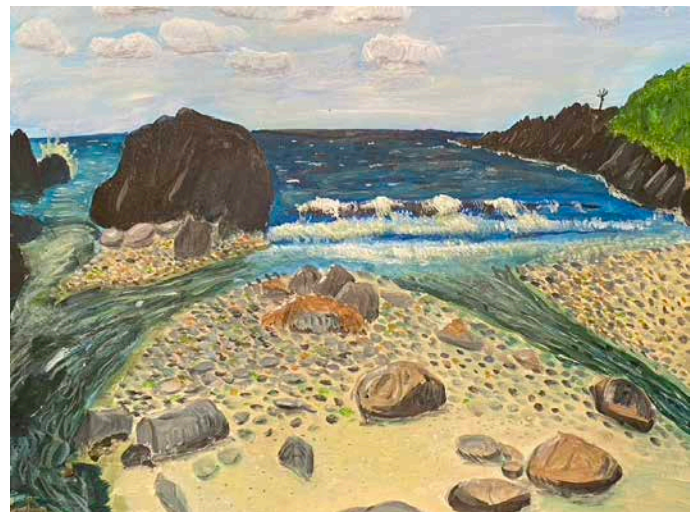
遅咲きのシンガーソングライター中野民夫
待望のデビューCD、オリジナル曲14曲収録！



Amazonで
買えます！

「自分の至福についていこう」 = 若い人たちへのメッセージ

- “Follow your bliss!” by Joseph Campbell
 - 「自分の至福を追求しなさい」（『神話の力』）
 - 意訳「自分の至福についていこう！」
 - 「自分の気になることについていこう！」
 - 「生命の滾ること、魂のふるえることについていこう」
 - 「生命（いのち）のときめきに素直になる」
 - （YAMAP創業者、若き起業家の春山慶彦さんの訳）
- この表題曲はまたおいおい。
 - 今日、この春の最新曲を



春、美しすぎて

2022年3月末-4月初

屋久島の新緑と武蔵野の桜に触発されて

作詞・作曲：中野民夫

1.

前奏：F C Dm7 G7 C

C G F C G7 C G7 C G F C G7 C G7

一雨去って、陽が射して 鳥さえずって、川踊る

F G Am Dm7 G7 F G7 C F C G7

春の息吹、まばゆい緑 日に日に山麓、登っていく

F G Am Dm7 G7 F G7 C F C G7

里も山も、谷も森も 島全体が、笑い出す

F C Dm7 G7 C F C Dm7 G7 C

春のいのち 美しい 美しすぎて、息を呑む

2.

C G F C G7 C G7 C G F C G7 C G7

一波去って、また揺れて 人の世界は、慌ただしい

F G Am Dm7 G7 F G7 C F C G7

コロナ・戦争、地震・SDGs 私にいったい何できる

F G Am Dm7 G7 F G7 C F C G7

今日も生きる、顔を上げて いのちの祭りへ踊り出

そう

F C Dm7 G7 C F C Dm7 G7 C

春の世界 美しい 美しすぎて、息を呑む

F C Dm7 G7 C



参加者チェックイン

- どんな人がどんな思いでここに？
 - 全員が少しずつ話す = 「チェックイン」
 - 話しやすい雰囲気（心理的安全性）を創る
- ちょっと多いので4人組に分けます。BORは顔出しで。
 - 5分預けます。名前（姓）の50音順で。最初の方、その後の進行役（ファシリテーター）よろしく。
- お題：チャットに入れます
 - 1) 名前（好きなこと、仕事や活動、研究テーマ、東工大の印象）
 - 2) この授業を取った思い、期待があれば
 - なんとなく？ 関心は、地球市民？ エコロジー？ サステナビリティ？
 - 3) 歌の感想など

全体で

- いかがでしたか？
- 話していたことでも、そうでなくてもいいので、どなたか感想など一言全体にシェアしてください。
- なかなか人と会えない時代に、学生同士の対話をたくさん盛り込んだり、体験を通じて学び合う参加型授業を目指します。

「地球市民」って？

地球市民のためのエコロジーとスピリチュアリティ

地球の出(Earthrise):1968年アポロ8号ウィリアム・アンダース撮影
「史上、最も影響力のあった環境写真」

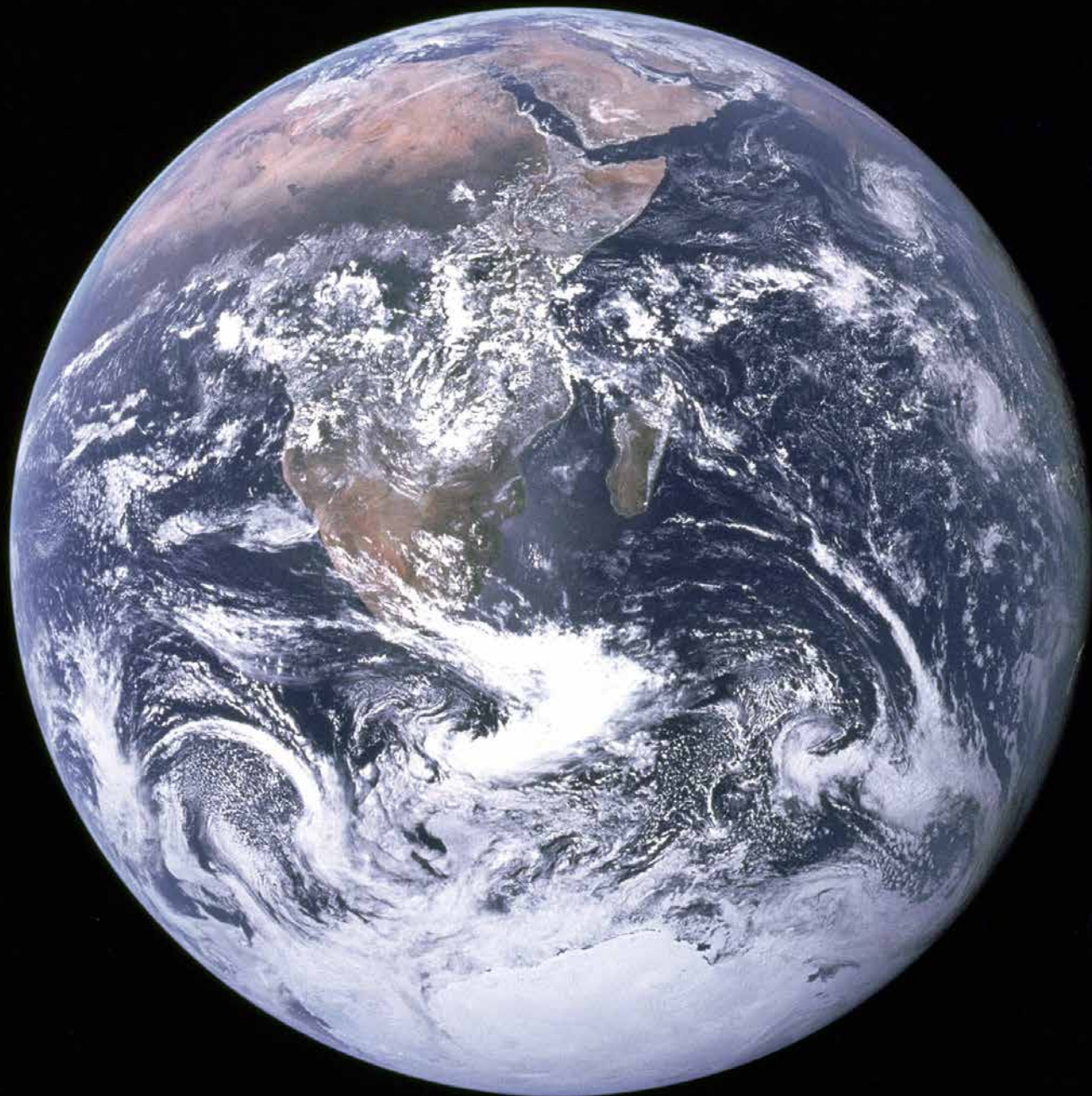


切手にも



巨大で、無限大
であった地球

→可憐かつ孤
独な惑星



The Blue Marble

1972年アポロ
17号

広大な宇宙
空間の真っ只
中にある地球
の儂さ、脆さ、
孤立を描写



NASA2001



NASA2002



私たち人類は、この広大な宇宙の中の、銀河系、その中の太陽系の奇跡の惑星「地球」に生きている。この生態系を離れて生命はない。国境は元々無い。

この奇跡の星に生きる一員としての自覚 = 「地球市民」 感覚

愛・地球博 EXPO2005 Aichi

地球市民村

“NGO Global Village”

概要(抜粋版)

2005年3-9月

元(株)博報堂

中野民夫

<http://www.expo2005.or.jp/jp/C0/C3/C3.8/C3.8.3/index.html>



茶畑に囲まれた地球市民村、万博史上初めて、NPO/NGOが参加！
コンセプトは、「**持続可能性への学び**」(Learning for **Sustainability**)



竹の卵のような「NPOパビリオン」が「広場」を囲む。「ほっとするね」
茶農家の応援で、お茶を摘んでお茶を作り、世界中からの来場者をおもてなし。



世界100以上のNPO/NGO1万人が参加、210万人来場者と交流
毎月5つのNGOユニットが、楽しくて学びになる「参加体験学習」を実践。



人や社会や世界について、「私にできることはなんだろう」
様々な種が撒かれ、色々な炎が人々の心の中に灯りました。



Candle Night Summer Solstice 2005.6.21 in EXPO



キャンドル・ナイト(夏至の夜)

あれから15年、今、**SDGs**(持続可能な開発目標)が、大ブーム！

皆さんが関心あるのは？逆に知らないのは？皆さんの研究はどれと関連？

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

2015.9、国連で193カ国首脳の合意のもとに採択。17のゴールと169のターゲットで持続可能な社会・経済・環境へ。

1 貧困をなくそう



2 飢餓をゼロに



3 すべての人に健康と福祉を



4 質の高い教育をみんなに



5 ジェンダー平等を実現しよう



6 安全な水とトイレを世界中に



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



8 働きがいも経済成長も



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



10 人や国の不平等をなくそう



11 住み続けられるまちづくりを



12 つくる責任 つかう責任



13 気候変動に具体的な対策を



14 海の豊かさを守ろう



15 陸の豊かさを守ろう



16 平和と公正をすべての人に



17 パートナーシップで目標を達成しよう



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です

このままでは世界は持続可能ではない！ →2030年までの世界の17の目標(ゴール)

表1-1-1 SDGs17のゴール

ゴール1 (貧困)	: あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる
ゴール2 (飢餓)	: 飢餓を終わらせ、食糧安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する
ゴール3 (健康な生活)	: あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する
ゴール4 (教育)	: 全ての人々への包摂的かつ公平な質の高い教育を提供し、生涯教育の機会を促進する
ゴール5 (ジェンダー平等)	: ジェンダー平等を達成し、全ての女性及び女子のエンパワーメントを行う
ゴール6 (水)	: 全ての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する
ゴール7 (エネルギー)	: 全ての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な現代的エネルギーへのアクセスを確保する
ゴール8 (雇用)	: 包摂的かつ持続可能な経済成長及び全ての人々の完全かつ生産的な雇用とディーセント・ワーク (適切な雇用) を促進する
ゴール9 (インフラ)	: レジリエントなインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの拡大を図る
ゴール10 (不平等の是正)	: 各国内及び各国間の不平等を是正する
ゴール11 (安全な都市)	: 包摂的で安全かつレジリエントで持続可能な都市及び人間居住を実現する
ゴール12 (持続可能な生産・消費)	: 持続可能な生産消費形態を確保する
ゴール13 (気候変動)	: 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる
ゴール14 (海洋)	: 持続可能な開発のために海洋資源を保全し、持続的に利用する
ゴール15 (生態系・森林)	: 陸域生態系の保護・回復・持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、並びに土地の劣化の阻止・防止及び生物多様性の損失の阻止を促進する
ゴール16 (法の支配等)	: 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会の促進、全ての人々への司法へのアクセス提供及びあらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度の構築を図る
ゴール17 (パートナーシップ) (以上IGES仮訳)	: 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

「169のターゲット」 (URL : <http://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000101402.pdf>)

SDGsウェディングケーキモデル

スウェーデンのレジリエンス研究所考案、SDGsの概念を表す構造モデル

頂点

17. パートナーシップ
で目標を達成しよう



Illustrated by
Johan Rockstrom and
Pavan Sukhdev

経済圏 Economy

- 8. 働きがいも経済成長も
- 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 10. 人や国の不平等をなくそう
- 12. つくる責任 つかう責任

社会圏 Society

- 1. 貧困をなくそう
- 2. 飢餓をゼロに
- 3. すべての人に健康と福祉を
- 4. 質の高い教育をみんなに
- 5. ジェンダー平等を実現しよう
- 7. エネルギーをみんなにクリーンに
- 11. 住み続けられるまちづくりを
- 16. 平和と公正をすべての人に

生物圏 Biosphere

- 6. 安全な水とトイレを世界中に
- 13. 気候変動に具体的な対策を
- 14. 海の豊かさを守ろう
- 15. 陸の豊かさを守ろう

<https://sdgs.media/blog/3834/>参照

17のうち、最も関心があるのは？

→調べてみよう（宿題）

- 17のうち、最も関心があるのはどれですか？その心は？
- また、最も遠い、よくわからん、というのはどれですか？
- 皆さんの研究に関わるもの、貢献できそうなものはどれですか？
 - 今や地球市民（地球全体とのつながりへの感謝と責任を感じる人）の常識に。



エコロジーと スピリチュアリティ

地球市民のためのエコロジーとスピリチュアリティ

「エコロジー」と「スピリチュアリティ」

• エコロジー

- 生態学（生物学の一分野、生物と環境の間の相互作用を扱う）
- 自然環境に配慮した文化・社会・経済的な思想、活動、生き方。「エコ」

• スピリチュアリティ

- ラテン語“Spirtus”（呼吸、いのち、風、精霊、魂）に由来
- “Spirituality”：「靈性」「精神性」と訳されてきた。『日本的靈性』鈴木大拙
 - 「天日は有難い。が、根はどうしても大地におろさねばならぬ。大地に係わりのない生命は、本当の意味で生きていない。天は畏るべきだが、大地は親しむべく愛すべき」43p
- 伝統宗教とは離れての精神的な探求を、最近カタカナのままで「スピリチュアリティ」と表記。
 - * スピリチュアリズム（心霊主義：靈魂の不滅、死者の靈と交信）とは違う。
- 北米先住民：「人間が自然界の大きな生命の輪の一部」という感覚。（デニス・バンクス）、「みんな地球の子どもたち」（マリリン・ヤングバード）
 - 大地に根ざした智慧 earth based wisdom、大拙「大地性」こそ日本的靈性の鍵

両者の関係について

- エコロジーとスピリチュアリティの関係
 - 私たちが、私たちを超えたより大きなものの一部、という感覚を共有。（『タオ自然学』のF.カプラ）
→ 「人間中心主義」（自然環境は人間が利用するための存在という自分中心の価値観）を超えて
 - この点、いまだに人間同士の紛争が絶えない現代のグローバルな社会で、国境を超えて「皆が地球の民」であるという「地球市民」意識を養うことこそ、「持続可能な社会」づくりの基盤になる。

地球市民感覚
(中野のイメージ)



もし「みんな地球の子どもたち」と私たちが実感できたら、平和や環境、持続可能性の問題はどう変わるだろう？

屋久島バーチャルツアー

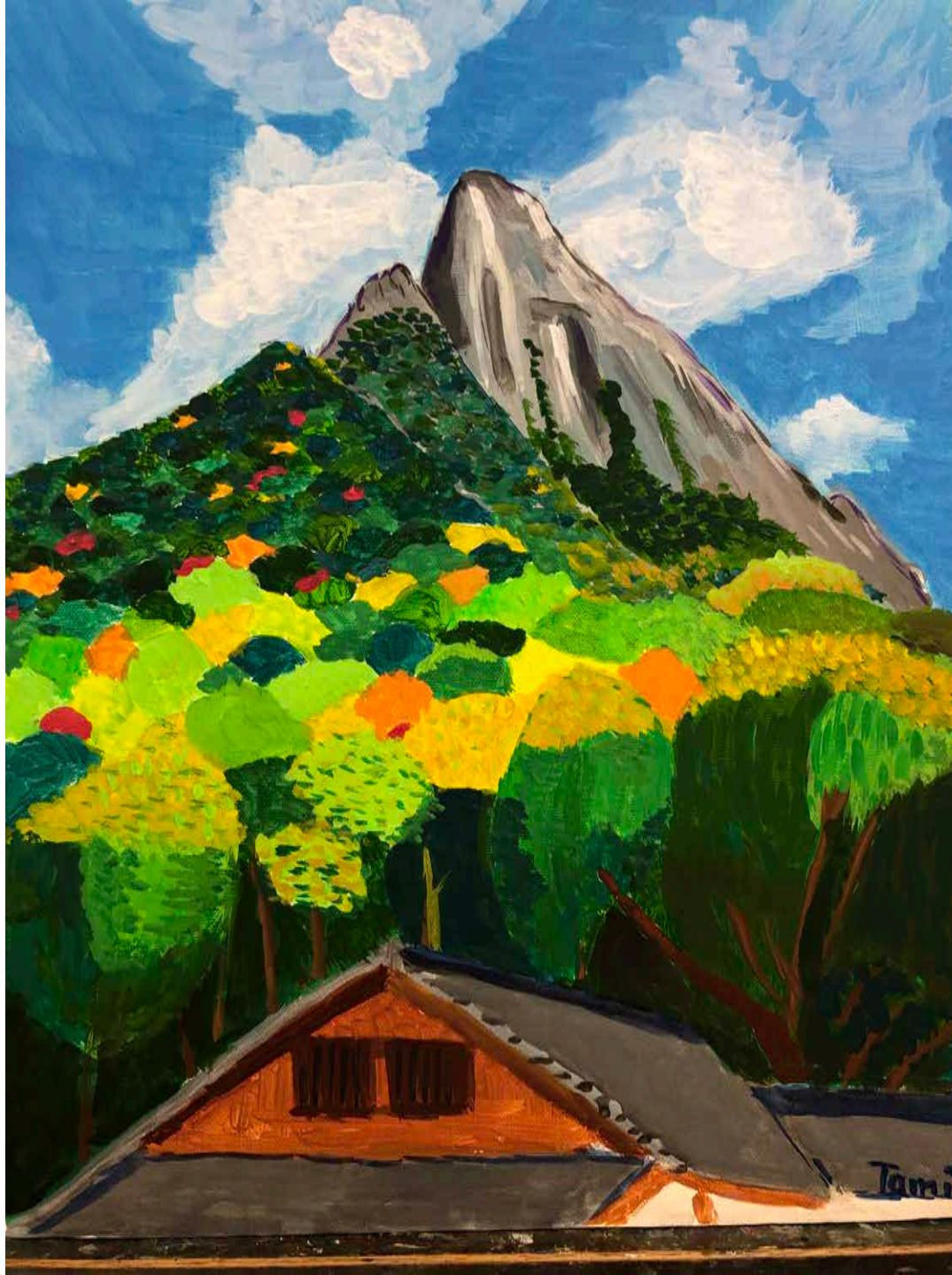
しばし世界自然遺産の屋久島へご招待

鹿児島島の南、黒潮に浮かぶ山岳島
周囲約130キロ、人口13,500人
最高峰1936m（宮之浦岳）
多雨(6,000-10,000m/年)で有名

屋久島のイメージ。花崗岩が隆起した山岳島。雨が多く深い森に覆われ、人や周囲に暮らす。







3月、新緑のモツ
チョム岳の山麓

人と人・自然・自分
自身とつながり直
す道場: **本然庵**
“Toward Our True
Nature”



















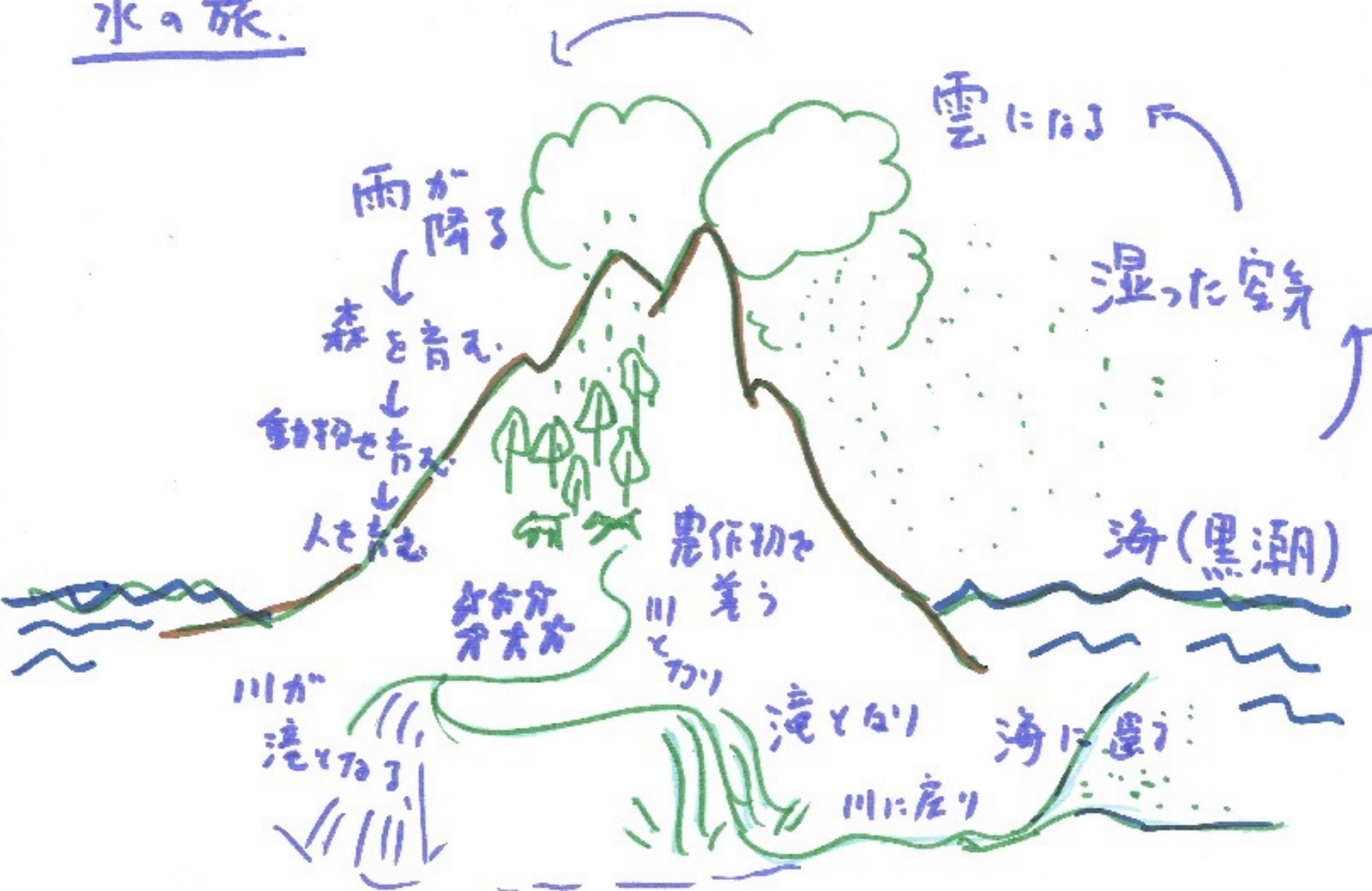








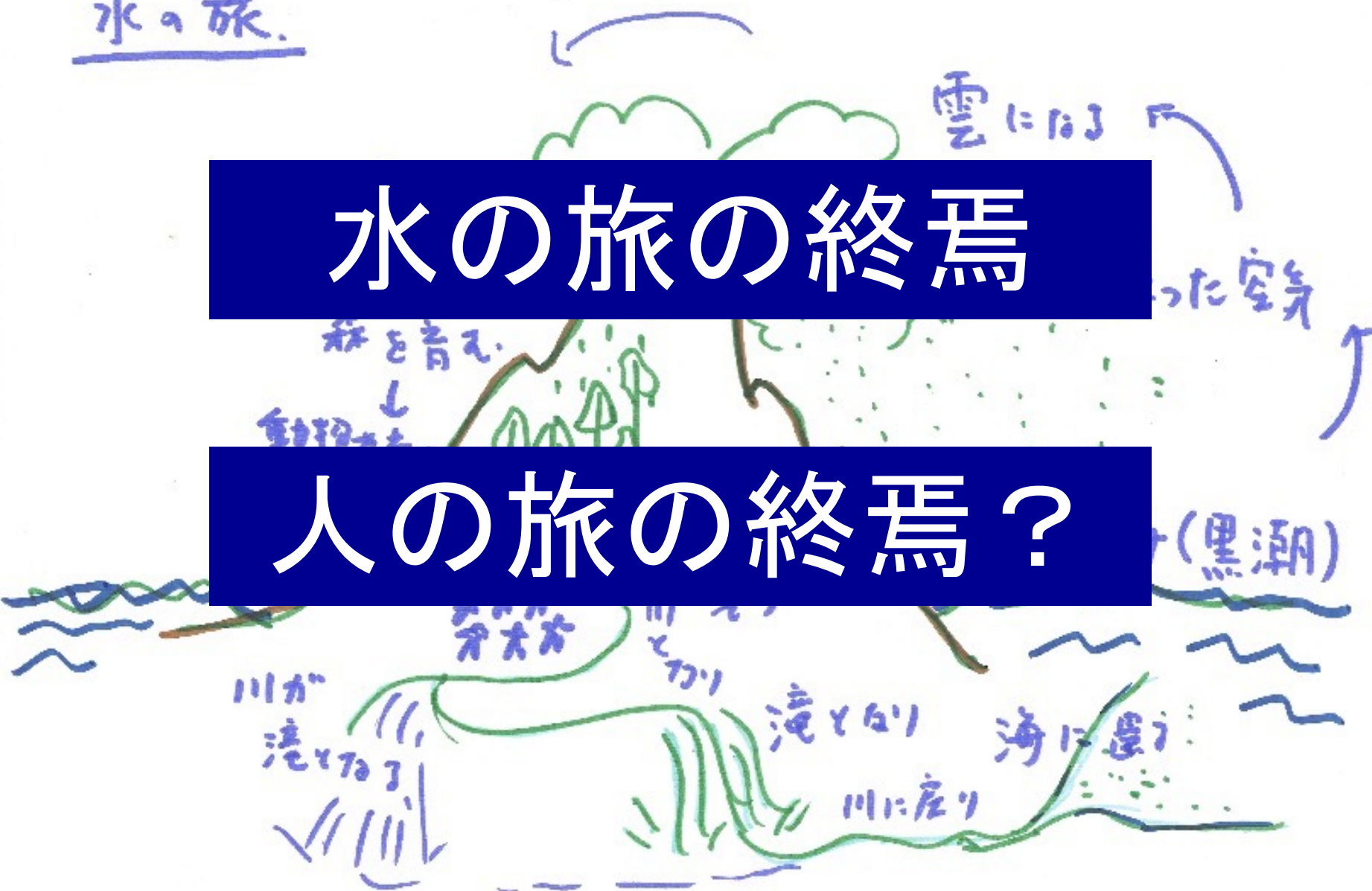
水の旅



水の旅.

水の旅の終焉

人の旅の終焉？



自然に学ぶ「死生観」

- 私たちは、どこから来て、どこへ行くのか？（土／山に還る？）
 - 生まれる前は？死んだ後は？輪廻はあるのか？
 - わかりません。確実なことは人はいつか死ぬ。ただいつかはわからない。
- 自然界、**森の中**では、「無数の生と死」が繰り返されている。相互に依存し、ある時は競争し、ある時は共生し。。。
 - 大木が倒れる。ギャップに日が射し込みようやく次の世代が育つ。
 - 倒れた幹や切り株が種の温床になる。朽ちて山に還る。
 - ギャップ更新、倒木上更新、切り株上更新
- 島では、「**水**」が海から雲、雨、川と循環し、大海に還る。
 - では「人」の旅の終わりは？大いなる光、いのちに還る？
 - 阿弥陀仏：浄土宗・浄土真宗系「南無阿弥陀仏」（日本的靈性の代表）
 - アミターバ（量りしれない光）、アミターユス（量りしれない寿命）→無量寿光

水の旅の終わり The Great Return

2019.4.29 作詞・作曲：中野民夫

英語詞：メアリー・オバーン

2カポ°

C G Am Em F Em F G
水の旅の終わりが、大きな海に還ることなら

C G Am Em F Em F G
人の命の終わりが、大きな光に還ることなら

Am Em F G G
なんと穏やかな、ほっとすることだろう

C G Am G
いのちの力に身を任せ、恐れを手放し輝こう

C G F G G
大きな私は待っている、小さな私が戻るのを

C G Am C G Am
オーオーオー、オーオーオー。

C G Am C G Am
オーオーオー。オーオーオー。

C G Am Em
As the waters' journey from all sources,
F Em F G
end in mother ocean blissfully,

C G Am Em
so the journey from our human home can
F Em F G
end returning to the blessed light.

Am Em F G
This is how reality relieves and calms eternally.

C G
Into your true nature is the Great Return.

Am G
Into your true nature is the Great Return.

C G
Ah la la surrender to the power of life.

F G
Ah la la let go of fear and a la la shine.

C G Am C G Am C G Am C G Am
Ah la la, Ah la la, Ah la la, Ah la la

持続可能性の基本

Sustainability

「サステナビリティ」 (持続可能性) について

- 皆さん、どう理解している？
 - “sustainability”とは？
 - 世界のキーワード「**サステナブル・ディベロプメント (SD)**」
 - 定義：「**将来の世代の欲求を満たしつつ、現在の世代の欲求も満足させるような開発**」
 - Sustainable **Development** : 持続可能な**開発？成長？発展？**
 - 「**ESD**」 (持続可能な開発のための教育) 2005-
 - 「**SDGs**」 (持続可能な開発目標) 2015-
- まずは「つながりマップ」から
 - 日々食べているもの着ているもの、どこから来てどこへ行く？
 - 上流と下流を探り描いてみよう。どこから来てる？その先は？
 - **ぜひ今日食べたものや今着ているものから探ってみてください。**
 - いかに関わりの暮らしがいかに関わり世界、地球とつながっていることか！

• 環境問題の歴史

- <日本>
 - 1945～ 戦後復興期
 - 1956～ 高度経済成長期
 - 1964東京オリンピック
 - 1970大阪万博
 - 一方で産業型公害の拡大
 - 水俣、イタイタイ病、四日市
 - 1971環境庁設置、各種法律制定
 - 1992～ バブル崩壊、停滞
 - 95 阪神淡路大震災、ボランティア
 - 1997 地球温暖化防止京都会議、
 - プリウス発売、
 - 次第に「エコ」が大事、ブームへ
 - 2000 循環型社会形成推進基本法
 - 各種リサイクルの促進
 - 2005 愛知万博 テーマ：自然の叡智
 - -09 チームマイナス6%→チャレンジ25
 - 2011 東日本大震災、福島原発
 - エネルギーやライフスタイル再考
 - 2020- 新型コロナウイルス・パンデミック
 - 各地で異常気象
- <世界>
 - 1962 『沈黙の春』
 - 1970 『成長の限界』
 - 1972 国連人間環境会議
 - 1972 “Small is beautiful”シューマッハ
 - 1973 第一次オイルショック
 - 1979 スリーマイル原発事故
 - 1986 チェルノブイリ原発事故
 - 1987 ブルトラント委員会
“Our Common Future”我ら共有の未来
 - SD：持続可能な開発の提唱
 - 1992 地球サミット（リオ）
 - 1997 京都気候変動COP3
 - 2000 ミレニアム開発目標MDG's
 - 2002 ヨハネスブルグサミット
 - 2005 ESDの10年、始まる。
 - 2010 生物多様性条約COP10（名古屋）
 - 2015 気候変動パリ協定、
SDGsの採択、各界で進展
 - 2020- COVID19パンデミック
 - 2021- IPCC(Intergovernmental Panel on Climate Change)第6次報告書



CSR: Corporate Social Responsibility

ESD: Education for Sustainable Development

CSR × ESDガイドライン

「次世代CSRにおけるサステナビリティ教育指針」

持続可能な社会の実現をめざす企業と企業人のための
ESD(持続可能な開発のための教育)ガイドライン

2010年5月発表

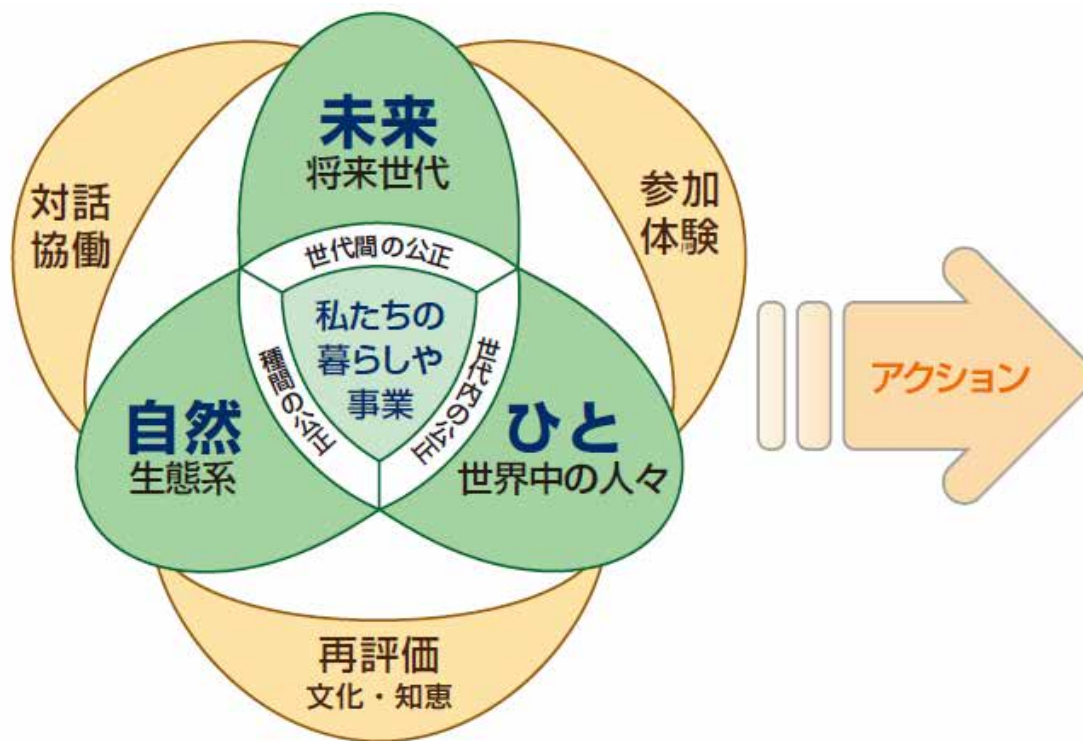
2011年2月改訂

立教大学ESD研究センターCSRチーム

(阿部治、川嶋直他)

サステナビリティの基本

3つの公正×3つのアプローチ=危機をチャンスに！



持続可能な社会の実現へ



- ①世代間の公正
- ②世代内の公正
- ③種間の公正

×

- ①対話・協働
- ②参加・体験
- ③文化・知恵の再評価

「危機」を チャンスに！

ふりかえりの対話

- 2人組で、今日の学びや感想など分かち合
いましょう。
- ふりかえって、自分で言葉にする中で、
確認を。

次回に向けて（宿題）

- SDGsについて、各自で調べてみよう。
 - 1) SDGsって何？（知らない人に立ち話で一言説明すると）
 - 2) 自分が関心ある（身近・切実）のは？
 - 3) よく知らないのは（遠い）のは？
 - 3) 研究が関係したり、貢献できるのは？
- パワポ数枚（4枚程度）orワード1-2枚にまとめてくる。
 - 次回小グループシェアで画面共有しやすいように。
- 次回は「ジョアンナ・メイシーの世界」。予習を
 - つながりを取り戻す、生命への回帰、ディープエコロジー、絶望と再生
 - サンフランシスコのCIISでの講演前の紹介動画（翻訳付き）
 - <https://activehope.jp/authors/video/to-live-in-the-fullness-of-time/>
 - 9分ほど。詩が読まれたり、歌が歌われたりのスタイルも注目。
 - （参考：その後の講演は英語のみ（2時間弱））

最後にフィードバックを

- 今日の授業のふりかえり（リフレクション）
 - どんな気づき・発見、そして学びがありましたか？
- 少し静かに振り返って、Googleフォームに書き込んでみてください。
 - <https://docs.google.com/forms/d/130dmry7VFMLwXThIRMv9MyOWGj3uLF-gicrMQ2WnXkM/edit>